

(51) Int. Cl. 6
A 47 C 7/38
B 29 C 39/10
// B 29 K 105:04
B 29 L 31:58

識別記号

F I
A47C 7/38
B29C 39/10

(21) 特願平11-15180

(22) 出願平11年(1999) 1月25日
優(31) 9800882
先(32) 1998年 1月23日
権(33) (FR) フランス

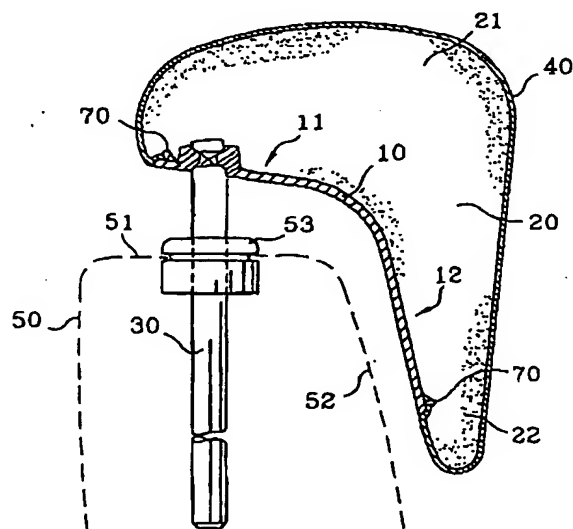
(71) 出 願 人 ベルトラン フォール フランス国 ブローニュ, リュ ルイ プレリオ, 276
ル エキブマンツ
ソシエテ アノニム
(72) 発 明 者 フィリップ ペドロ フランス国 マルクッシ, リュ ド レタン, 3
ンノ
(72) 発 明 者 ローラン サブラン フランス国 エタムブ, リュ ドュ ムラン, 2
(74) 代 理 人 弁理士 浅村 皓 (外3名)

【発明の名称】 自動車車両シートのためのヘッドレスト

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 安楽さを改良するとともに、設備の簡単化により製造コストを下げ得る骨組を用いた新規のコンマヘッドレスト。

【解決手段】 本体21と、詰め物20のための支持体として作用する骨組10に取り付けた唇状物22とを有する。本体はバックレスト50の頂部51に当接しているとともに、唇状物22は、シートパンに向けて延在することによりバックレストの当接面の一部分52を覆っている。ヘッドレストは、また、心棒30があり、心棒は、バックレストの骨組に取り付けられたソケット53に取り付けてある。ヘッドレストの骨組は薄い板から成っており、板はバックレストの頂部の輪郭に沿うように湾曲して、骨組に心棒30が取り付けられている。



【発明の属する技術分野】

本発明は、自動車車両シートのためのヘッドレストに関し、より具体的には、「コンマヘッドレスト」として知られているヘッドレストに係わる。

【発明が解決しようとする課題】

添付図面の図1及び図2は既知の形式の「コンマヘッドレスト」を示しており、該既知の形式の「コンマヘッドレスト」は、発泡詰め物2のための支持体として作用する筒状骨組1を含んでおり、これが布3あるいは「カバー」として名称の付された何らかの他の覆い体により概ね覆われている。

図2に示されているごとく、筒状骨組は概ねU字形をしており、また、該Uの平行アームは曲げられていて、ヘッドレストの高さが調節されるのを可能にする2つの心棒5を形成している。更に、骨組1は湾曲されていて、図1に示されているごとく、バックレスト4の頂部の輪郭に沿うようになっていて、ヘッドレストが使用者により低位置に置かれる際、ブラケット40の頂部を、また、バックレストの前方当接面の上方部分『以下省略』

【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動車車両シートのためのヘッドレストであって、本体(21)と、詰め物(20)のための支持体として作用する骨組(10)に取り付けられた唇状物(22)とを含んでおり、前記本体(21)はバックレスト(50)の頂部(51)に当接しており、また、前記唇状物(22)は、シートパンに向かって延在することにより前記バックレストの前面の頂部部分(52)を覆っており、前記ヘッドレストは、また、心棒(30)を含んでおり、該心棒(30)は前記バックレストの前記骨組(10)に定着されたソケット(53)に嵌合しているヘッドレストにおいて、該ヘッドレストの前記骨組(10)は、前記バックレストの頂部で輪郭に沿うように湾曲された薄い板からなっており、該薄い板に前記心棒(30)が取り付けられていることを特徴とするヘッドレスト。

【請求項2】 前記詰め物(20)は前記板(10)にオーバーモールドされていることを特徴とする請求項1に記載のヘッドレスト。

【請求項3】 前記詰め物(20)を覆っているとともに

に取付手段（70）により前記板に保持されているカバー（40）を含んでおり、前記詰め物は前記板の前面（13）上になされていることを特徴とする請求項1に記載のヘッドレスト。

【請求項4】 前記カバー（40）は開口部を含んでおり、該開口部の縁部は前記板の周囲に保持されていることを特徴とする請求項3に記載のヘッドレスト。

【請求項5】 前記取付手段（70）はスタッドからなっていることを特徴とする請求項3に記載のヘッドレスト。

【請求項6】 前記板（10）はプラスチック材料で作られていることを特徴とする請求項1に記載のヘッドレスト。

【請求項7】 前記板はモールドイングにより得られており、また、挿入体を形成している前記心棒（30）の端部の一部分は前記板（10）に埋め込まれていることを特徴とする請求項6に記載のヘッドレスト。

【図面の簡単な説明】

【図1】 既知の形式のコンマヘッドレストの側面図である。

【図2】 図1のヘッドレストの斜視図で、特に、筒状骨組を用いることを示している。

【図3】 本発明によるコンマヘッドレストの斜視図で、ヘッドレストの骨組を形成する板を用いることを示している。

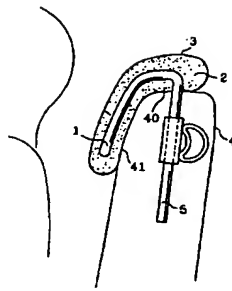
【図4】 図3のヘッドレストの側面断面図で、特に、心棒の取り付けを、また、板へのカバーの取り付けを示している。

【図5】 板への心棒の取り付けの設計変形例の詳細図である。

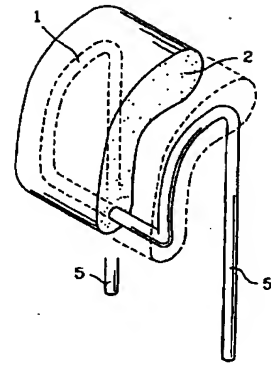
【符号の説明】

- 10 骨組
- 11 板の本体を形成している部分
- 13 板の前面
- 20 詰め物
- 21 本体
- 22 唇状物
- 30 心棒
- 40 カバー
- 41 上方部分
- 50 バックレスト
- 51 バックレストの頂部
- 52 バックレストの前面の頂部部分
- 53 ソケット
- 70 取付手段

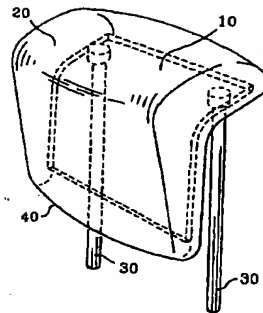
【図1】



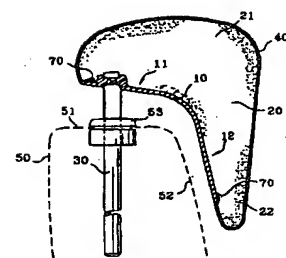
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

